



連邦矯正局

**未決拘留者の法的な権利行使への
アクセス用ハンドブック**

未決拘留されている成人が裁判所及び自分の弁護士
にアクセスする方法に関する情報

未決拘留者の法的な権利行使へのアクセス用 ハンドブック

目次

はじめに.....	4
このハンドブックは私に適用されるものですか？.....	4
このハンドブックの対象となる施設は何ですか？.....	4
ご質問は？.....	6
言語的な支援その他の配慮.....	7
接見.....	9
面談形式の接見.....	9
弁護士の見時間帯は？.....	9
非弁護士の接見.....	9
仮想接見.....	10
あなたの弁護士とのコミュニケーション.....	11
電話によるコミュニケーション.....	11
1. 未決区画にある直接の法的な相談のための電話機.....	11
2. ユニット・チームを通じて設定される法的な相談のための電話.....	11
3. TRUFONE（ツルーフォーン）を使用する電話交信.....	11
電子メールによるコミュニケーション.....	12
法務または特別郵便.....	12
法的資料.....	14
私の弁護士が法的資料を持参することはできますか？.....	15
法的資料の写しを作成すること.....	15
あなたに関する矯正局の記録を要請する.....	16
審理前のファイルの資料を閲覧する方法は？.....	16

どうすれば私の健康記録を入手することができますか？.....	16
開示不可な文書とは？または、私のファイルに納められていない文書は？.....	16
電子および実際の法務図書館.....	17
文書をタイプ打ちすることができますか？.....	17
法的なりサーチをすることはできますか？.....	17
いつ法務図書館を利用できますか？.....	18
証拠開示の検討.....	19
私に関する証拠開示を検討する方法は？.....	19
保護命令下での証拠開示はどうなりますか？また、機密情報を含む証拠開示の場合はどうなりますか？.....	19
電子証拠開示の表示.....	20
証拠開示コンピューター.....	20
未決拘留者用の施設別の電子証拠開示の検討.....	21
公証人.....	22
眼鏡.....	23
処方眼鏡.....	23
読書用眼鏡.....	23
視力検査.....	23
量刑判決前報告書の検討.....	24
PSR の内容は？.....	24
量刑判決前.....	24
量刑判決後.....	24
特別居住区画における法的な権利行使へのアクセス.....	25

はじめに

この未決拘留者の法的な権利行使へのアクセスに関するハンドブックには、連邦矯正局（以下「矯正局」という。）における次の者に関する法的な権利行使に関する情報が盛り込まれています：係属中の刑事事件に伴い未決拘留されている成人。

この情報は、発行日現在のものです。あなたの拘留に関する情報で法的な権利行使へのアクセスに関係しないものについては、収容されている施設の収容およびオリエンテーションハンドブックをご覧ください。

このハンドブックは私に適用されるものですか？

刑事事件は、犯罪又は複数の罪を犯したとして逮捕され、検察官から起訴されてから始まります。裁判官は、あなたの事件が進行する間にあなたを釈放するか、拘留するかを決定することになります。裁判官があなたを拘留する場合、このハンドブックが適用されます。このハンドブックは、あなたが矯正局の未決拘留者であり、量刑判決が下されるまで適用されることになります。

未決拘留者の立場にある人々は、法的手続きおよび弁護士へのアクセスに関する憲法上の権利を有するものです。弁護士へのアクセスには、弁護チームに所属する法務アシスタントへのアクセスも含まれます。

このハンドブックの対象となる施設は何ですか？

このハンドブックは、矯正局の管轄する未決拘留施設における法的な権利行使へのアクセスに関する一般的なガイドです。この規則および手続は、次の場合には異なります：

- あなたが矯正局の運営する施設ではないものに移送される場合。
- 刑事事件について量刑判決を受けるとともに、矯正局が刑期を務めている者を収容するため運営する刑務所に移送される場合。

これらの施設は、未決拘留中の人々のためのものです。

未決拘留者施設：

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">• MDC ブルックリン• MCC シカゴ• MDC グアヤナボ• FDC ホノルル• FDC ヒューストン | <ul style="list-style-type: none">• MDC ロスアンゼルス• FDC マイアミ• FDC フィラデルフィア• FDC シー・タック• MCC サンディエゴ |
|--|---|

未決拘留者センターを伴う施設

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">• FDC アトランタ• FDC ミラン | <ul style="list-style-type: none">• FDC エングルウッド• FDC フォートワース |
|---|---|

- FDC シェリダン
- FDC タラハッシイ

- FDC シーゴヴィル

この他にも、未決拘留者用の区画またはベッドのスペースを有する矯正局の施設があります。ここに掲げられている未決拘留者用の施設のひとつではない矯正局の施設に未決拘留されている成人（以下「AIC」という。）である場合、同一または類似の接見の機会を有すべきものです。これには、あなたが精神健康の検査または回復のための施設に収容されている場合が含まれます。

あなたが収容されている施設における固有の接見の手続について不詳である場合は、担当のユニット・チームに対し、書面で接見の要求を行うことができます。

ご質問は？

このハンドブックは、一般的なガイドです。このハンドブックは、必ずしも法的権利へのアクセスに関する質問のすべてに回答するものではありません。

質問がある場合は、担当のユニット・チームにご質問ください。このチームには、ユニット・マネージャー、カウンセラー、ケース・マネージャー、及びユニット・セクレタリーが含まれます。担当のユニット・チームは、何らかの法的な助言をあなたに提供することはできません。法的な助言については、すべてあなたの弁護士に尋ねなければなりません。

言語的な支援その他の配慮

この受け取ったもの以外の言語で書かれたハンドブックが必要です。

Please show an employee this sentence if you need this Pretrial Detention Legal Access Handbook in this language (English).

يُرجى أن تُظهر هذه الجملة لأحد الموظفين إذا أردت الحصول على دليل الوصول القانوني لما قبل المحاكمة بهذه اللغة (العربية). [Arabic]

Muéstrele esta oración a un empleado si necesita este Manual de acceso jurídico durante la detención previa al juicio en este idioma (español). [Spanish]

Խնդրում ենք աշխատակցին ցույց տալ այս նախադատությունը, եթե Ձեզ անհրաժեշտ է այս լեզվով (հայերեն) նախնական կալանքի իրավական մուտքի ձեռնարկը: [Armenian]

如果您需要这种语言（简体中文）的审前拘留法律服务手册，请向员工出示此句子。 [Chinese – Simplified]

如果您需要這種語言（繁體中文）的審前拘留法律服務手冊，請向員工出示此句子。 [Chinese – Traditional]

لطفاً اگر به این دفترچه راهنمای دسترسی قانونی بازداشت پیش از محاکمه به زبان دری نیاز دارید به کارمندان این جمله را نشان دهید. [Dari]

ਕਿਰਪਾ ਕਰਕੇ ਕਿਸੇ ਕਰਮਚਾਰੀ ਨੂੰ ਇਹ ਵਾਕ ਦਿਖਾਓ ਜੇਕਰ ਤੁਹਾਨੂੰ ਇਸ ਭਾਸ਼ਾ (ਪੰਜਾਬੀ) ਵਿੱਚ ਪ੍ਰੀ-ਟਰਾਇਲ ਡਿਟੈਂਸ਼ਨ ਲੀਗਲ ਐਕਸੈਸ ਹੈਂਡਬੁੱਕ ਦੀ ਲੋੜ ਹੈ। [Eastern Punjabi]

لطفاً اگر به این دفترچه راهنمای دسترسی قانونی بازداشت پیش از محاکمه به زبان فارسی نیاز دارید به کارمندان این جمله را نشان دهید. [Farsi]

Veuillez montrer cette phrase à un employé si vous avez besoin de ce guide d'accès juridique lors de la détention provisoire dans cette langue (français). [French]

Bitte zeigen Sie diesen Satz einem Angestellten, wenn Sie dieses Handbuch für den Zugang zu Rechtsdienstleistungen für Personen in Untersuchungshaft in dieser Sprache (Deutsch) benötigen. [German]

Παρακαλείσθε να δείξετε σε έναν υπάλληλο αυτήν την πρόταση εάν χρειάζεστε αυτό το εγχειρίδιο νομικής πρόσβασης κατά την προφυλάκιση σε αυτήν τη γλώσσα (ελληνικά). [Greek]

Tanpri montre yon anplwaye fraz sa a si ou bezwen Manyèl Aksè Legal Detansyon Anvan Jijman sa a nan lang sa a (Kreyòl). [Haitian Creole]

Mostra a un dipendente questa frase se hai bisogno di questa Guida per l'accesso legale durante la custodia cautelare in questa lingua (italiano). [Italian]

あなたがこの言語（日本語版）の未決拘留者の法的権利へのアクセスに関するハンドブックを必要とされる場合は、この文を担当者に示してください。 [Japanese]

귀하가 이 언어(한국어)로 된 미결 구금 법적 접근 안내서가 필요한 경우, 이 문장을 직원에게 보여주십시오. [Korean]

Por favor, mostre esta frase a um funcionário, se você precisar deste Manual de Acesso Jurídico para Detenção Pré-Julgamento neste idioma (português). [Portuguese]

Если вам нужно получить этот "Справочник о правах доступа к юридическим услугам во время досудебного содержания под стражей" на этом языке (на русском) – просим вас показать это предложение работнику заведения. [Russian]

Покажите неком од запослених ову реченицу ако вам овај Приручник о приступу правним питањима за лица у притвору треба на овом језику (српски). [Serbian]

Mangyaring ipakita sa isang empleyado ang pangungusap na ito kung kailangan mo itong Polyeto ng Legal na Pag-abot ng Pretrial na Pagkulong sa wikang ito (Tagalog). [Tagalog]

กรุณาแสดงประโยชน์แก่พนักงานหากคุณต้องการคู่มือการเข้าถึงความช่วยเหลือทางกฎหมายระหว่างการควบคุมตัวก่อนการขึ้นพิ
จารณาคดีในตามภาษาในเล่มนี้ (ไทย) [Thai]

Bu Yargılama Öncesi Gözaltı Yasal Erişim El Kitabına bu dilde (Türkçe) ihtiyacınız varsa lütfen bir çalışana bu cümleyi gösterin. [Turkish]

Якщо вам потрібно отримати цей "Довідник з прав доступу до юридичних послуг при досудовому утриманні під вартою" на цій мові (на українською) - просимо показати це речення працівнику закладу. [Ukrainian]

اگر آپ کو پری ٹرائل کے مقدمے کے دوران قانونی امداد تک رسائی کے متعلق بہ بینڈ بک اس زبان (اردو) میں چاہیے، تو براہ کرم کسی ملازم کو یہ جملہ دکھائیں۔ [Urdu]

Vui lòng cho nhân viên thấy câu này nếu quý vị cần một bản dịch tiếng Việt của Sổ Hướng dẫn Cách tiếp cận Pháp lý khi bị Tạm giam Trước xét xử này. [Vietnamese]

あなたが英語を話さない場合は、ユニット・チームに対し、ランゲージ・ライン・サービス（以下「LLS」という。）と呼ばれる専門的な翻訳サービスを利用して、この施設における重要な情報を説明させるよう要求することが認められます。

耳が不自由または難聴者である場合、担当のユニット・チームから書面の情報またはサインランゲージ翻訳サービスを要求することが認められます。

障害の理由で、これらのプログラムまたはサービスへアクセスするために追加的な支援または配慮を必要とされる場合は、担当のユニット・チームに対し、配慮を要求することが認められます。

接見



あなたは、ご自身の事件について弁護士と面談する権利を有しています。この弁護士の接見中のあなたと弁護士との間の意思疎通は秘密とされます。ここで「秘密」とは、他の者が盗み聞きすること、または会話を聴くべきものではないことを意味します。「秘密」とは、また、あなたと弁護士との間の相談について誰にも伝える必要がないことも意味します。

面談形式の接見

あなたの弁護士は、あなたが収容されている施設が設定する接見時間帯に直接訪れることが認められます。あなたが特別居住区画に収容されている場合、あなたの弁護士は、あなたと接見するために予約を取得する必要があるかもしれません。あなたの接見は、個室で行われます。そうすることにより、あなたは弁護士との間で秘密の相談ができます。矯正局の担当者は、接見中にあなたに会うことが出来るものの、あなたの会話を盗み聞きしたり、聞いたりしないようにすべきものです。

個別面会室が空いていない場合、あなたは個室が空くまで待つか、または別の時間に弁護士と会わなければなりません。施設によっては、弁護士に共用エリアでクライアントと会うことを求めます。しかし、共用エリアで弁護士と相談すると、誰にも盗み聞きされず、聞かれることなしに内密な会話が困難になります。あなたの弁護士は、これが最善の選択肢であるか否かをお伝えすることになります。

弁護士の接見時間帯は？

弁護士の接見時間帯は、週7日間設定されています。各施設は異なる時間帯を設定しています。¹特定の状況下では、あなたは通常の時間帯外で弁護士との接見を手配することができます。これは、あなたの事件の状況および担当官の手配が可能か否かによります。

非弁護士の接見

一般的に、矯正局は、あなたの弁護チームの非弁護士構成員を「法務アシスタント」とみなします。法務アシスタントとは、次のような者となります：

- 捜査員
- 心理学者

¹接見の日程は、あなたが特別居住区画（以下「SHU」という。）に収容されているか否か、また緊急事態中であるか否かにより異なります。

- ソーシャル・ワーカー
- 減刑専門家
- パラリーガル
- 18歳以上のインターン
- 採用済の専門家証人
- 法律事務員

これらの者は、免許取得済の弁護士ではないため、あなたに接見する際に別途の規則に従わなければなりません。

あなたの弁護士は、次の BP-A0243, 代理人として施設に入所するための申請書 (以下「代理人書式」という。)に記入し、法務アシスタントがあなたを訪れることについて承認を申請する必要があります。この手続きは、1年に1回行わなければなりません。法務アシスタントが連邦公選弁護人の適切な資格を有する職員ではない場合、これらの者は、1年に1回背景調査に合格する必要があります。²当該法務アシスタントが承認された場合、あなたの弁護士と同一の資格で接見に当たることになります。³

直接の接見に関するより詳細な情報については、プログラム声明 1315.07、法的な活動、収容者、第12条及び第15条をご覧ください。

仮想接見

あなたの事件の状況および職員の手配の可能性に基づき、施設に対し、仮想接見を要請することが認められます。例外的なことですが、施設が定期的な仮想接見の機会を提供することもあります。

FDC シェリダンのみに限る

FDC シェリダんに収容されている場合、あなたの弁護士は、オレゴン連邦公選弁護人との間で仮想接見を設定することができます。同弁護士が当該施設に対し日程を提供することになります。

MDC ブルックリンのみに限る

MDC ブルックリンに収容されている場合、あなたの弁護士は、東部地区連邦公選弁護人事務所との間で仮想接見を設定することができます。同事務所が当該施設に対し日程を提供することになります。

² 個別の事案について正当な根拠がある場合、当該収容施設が当該法務アシスタントの承認について年1回以上の再権限賦与を求める可能性があります。

³ 法務アシスタントは、接見または書面によるコミュニケーションに関し弁護士としての地位を認められるためには、あなたの弁護士との間に継続的な監督-被監督関係がなければなりません。

あなたの弁護士とのコミュニケーション



電話によるコミュニケーション

あなたが弁護士と電話で話をする方法には、三つのものがあります。

1. 未決区画にある直接の法的な相談のための電話機

10か所の未決拘留者用施設には、法的な相談のための1台の電話機が未決拘留区画に設置されています。弁護事務代理人の事前にプログラムされた認証済の電話番号宛に短い、直接、かつ監視されていない電話を掛けることができます。

この電話を使用して私の弁護士に電話することは出来ますか？

- 連邦公選弁護人のために働く弁護士が付いている場合、あなたはこの電話機を利用して秘密の電話を掛けることができるべきものです。
- 連邦公選弁護人の従業員ではない弁護士が付いている場合、あなたは、この電話機を利用して秘密の電話を掛けることができる場合があります。あなたは、担当のユニット・チームおよびあなたの弁護士の双方またはその何れかに尋ねることができます。

2. ユニット・チームを通じて設定される法的な相談のための電話

弁護士との間で、より長い監視されていない電話交信を必要とする場合、あなたまたは弁護士がユニット・チームに対し、監視されていない電話交信の設定を要請することができます。

あなたの事件の状況および職員の手配の可能性に基づき、このような交信が提供される場合があります。あなたの弁護士との間の頻繁または長時間の監視されていない電話交信は、あなたの弁護士との間の郵便、接見、または通常の電話では十分でないことを示すことができる場合にのみ認められます。例えば、あなたの近々の裁判の期限が迫っている場合、またはあなたの弁護士が遠く離れた場所にいる場合です。あなたは、監視されない電話交信を要請するためには、担当のユニット・チームに対し、書式 BP-A0148 「収容者の職員に対する要請」を提出しなければなりません。これらの要請は、個々の事案に基づいて検討されることになります。

3. TRUFONE（ツルフォーン）を使用する電話交信

あなたは、また、あなたの弁護士の電話番号を TRUFONE の連絡先リストに追加するよう要請することができます。この通常の電話を利用してあなたの弁護士と通話する場合、その通話は、秘密ではありません。その通話は、記録されることになります。これらの記録は、法取締機関に属する者に聞かれ、共

有される可能性があり、その中には、あなたの関わる刑事事件の検察官も含まれます。これらの通話については、受信者払いの場合を除き、一般的には手数料が発生します。

MDC ブルックリンのみに限る

MDC ブルックリンに收容されている場合、あなたの弁護士は、東部地区連邦公選弁護人事務所を通じて法的な相談のための通話を予定するよう要請することができます。同事務所は、当該施設に対し、日程を通知することになります。

MCC シカゴのみ

MCC シカゴに收容されている場合、あなたの弁護士は、平日に法的な相談のための電話を要請することができます。一回の法的な相談のための電話は 30 分間に制限されています。あなたの弁護士がこれらの電話連絡を予定しなければなりません。

FDC ホノルルのみ

FDC ホノルルに收容されているとともに、あなたの弁護士がオアフ島外に居住している場合、あなたはユニット・チームに弁護士との間でより頻繁に、監視されない法的な相談のための電話をするよう要請することができます。

FDC シェリダンのみに限る

FDC シェリダンに收容されている場合、あなたの弁護士は、オレゴン連邦公選弁護人との間の法的な相談のための電話の予定を設定することが可能であり、同公選弁護人は、その日程を当該施設に提供することになります。

法的な相談のための電話交信に関するより詳細な情報については、プログラム声明 5264.08、電話交信に関する規則をご参照ください。

電子メールによるコミュニケーション

通常の場合、TRULINCS（ツルー・リンクス）を通じて電子メールのアカウントを設定することが認められます。次に、TRULINCS の連絡先リストにああなたの弁護士の電子メールアドレスを追加することが認められます。この連絡先リストにああなたの弁護士の電子メールアドレスを追加すると、TRULINCS は、あなたの弁護士宛に今後あなたからの電子メールを受け取るか、または拒絶するかを照会するメッセージを自動的に送付することになります。あなたの弁護士が受け取ることとした場合、両者は、相互間の電子メールのやり取りを始めることができます。

RULINCS で送受信される電子メールは、秘密のものでは**ありません**。これは、他の者がこれらの電子メールにアクセスし、読むことができることを意味します。

法務または特別郵便

あなたの弁護士からあなた宛てに送付された郵便は、法務郵便と見なされます。特別郵便通知（BP-A0493）は、送付される弁護士－顧客間の連絡の必要性をあなたの弁護士にアドバイスするめに使うことができる文書です。担当のユニット・チームに対し、写しを求めることができます。

あなた宛てに弁護士が送付した受信郵便

受信する法務郵便には、ラベルを付さなければなりません。このラベルには、返送先住所及びあなたの弁護士のフルネーム、および「弁護士」であることを明記する必要があります。「法務郵便-収容者の立会いのもとでのみ開封すること」というラベルを付し、適切な身分を明らかにした郵便のみが法務郵便として処理されることとなります。弁護士に対して、ラベルに関する要件を伝えることはあなたの責任です。あなたの弁護士は、自ら「弁護士」と名乗らなければなりません。「法律事務所」や「Esq. (弁護士の称号)」と記載するだけでは不十分です。

例:

弁護士の姓名 「弁護士」の肩書 フルアドレス 市名 州名 郵便番号	
法務郵便 収容者の立ち合いのもとで のみ開封すること	フルネームおよび登録番号 施設のフルアドレス 市名 州名 郵便番号

正しくラベルが付されていない法務郵便は、一般の通信として処理される可能性があります。これは、矯正局の職員がその郵便を開封し、検査し、読むとともに、写しをとる可能性があることを意味します。

受信する特別郵便には、次の者から受領する郵便が含まれます：アメリカ合衆国の大統領及び副大統領、米国議会の議員、大使館及び領事館、米国司法省（矯正局は除き、米国連邦検事を含む）、他の連邦法執行機関の担当官、州の司法長官、検察官、州知事、米国連邦裁判所（米国保護観察官を含む）、および州裁判所。特別郵便手続きに基づき処理される受信通信（第 540.18 条及び第 540.19 条を参照）であるためには、送付者のフルネームが封筒に明瞭に記載されるとともに、封筒の表側に「特別郵便 - 収容者の立会いのもとでのみ開封すること」と印されていなければなりません。

特別又は法務郵便を受領したとき、職員は、禁制品が封入されている旨の合理的な疑いが無い限り、収容者の立会いのもとでのみ開封することになります。一般的に、週の平日に受領した郵便は二十四（24）時間以内に処理されます。通常、郵便は週末及び祝日には処理されません。

発送 – 郵便 あなたが発送するもの

法務または特別郵便でああなたの弁護士または裁判所宛のものには、「法務郵便」または「特別郵便」と明瞭に示すとともに、封緘されなければなりません。発送される法務または特別郵便は、あなたの姓名、登録番号、および返送先住所を付して、当該居住区画を担当する従業員またはユニット・チームに手交されなければなりません。法務または特別郵便は、書留郵便として発送されない限り追跡されません。書留郵便とするためには追加的な料金を支払わなければなりません。

例：

フルネームおよび登録番号 施設のフルアドレス 市名、州名、郵便番号	
法務郵便	弁護士の姓名 フルアドレス 市名、州名、郵便番号

送付される「特別郵便」は、次の宛先に送付される通信を意味します：アメリカ合衆国の大統領又は副大統領、米国司法省（矯正局を含む）、米国連邦検事事務所、公衆衛生局長官、米国公衆衛生サービス、陸軍、海軍、もしくは空軍長官、米国裁判所（米国保護観察官を含む）、米国議会の議員、大使館および領事館、州知事、州司法長官、検察官、州矯正局長官、州仮釈放委員会、州議会議員、州裁判所、州保護観察官、その他の連邦および州の法執行官、弁護士、およびニュースメディアの代表者。

法的資料



法的資料には、あなたの刑事事件に関連する文書またはノートを含むあらゆる資料が含まれます。あなたは、矯正局の職員の承認を受けた場合、合理的な分量の法的資料を接見の場に持ち込むことが認められます。

私の弁護士が法的資料を持参することはできますか？

あなたの弁護士は、あなたと接見するために当該施設を訪れる際に法的資料を持参できる場合があります。しかしながら、あなたは、接見が終了した時点でそれらの資料を持ち出すことはできません。

正面のロビー/入口に法務郵便投函箱が設置されています。あなたの接見の前後に弁護士または承認済の法務アシスタントが法的資料をあなた宛にその投函箱に投函することができます。

あなたの弁護士が法的資料に次の事項を明瞭に記載することを確かめてください：

- 弁護士の姓名
- 「弁護士」という肩書
- あなたの姓名
- あなたの登録番号
- 返信先住所、および
- 次のようなステートメント：「特別（または法務）郵便 - 収容者が同席する場で開封することに限るもの」 -

あなたの法的資料にこの情報が明瞭に示されていない場合、それは一般的な通信として取り扱われることとなります。法的資料のほとんどは、法務郵便として郵便システムを通じ、または当該施設の郵便投函箱に投函される形で送付されるべきものです。

通常、裁判所または接見から戻る際に追加の法的資料を抱えて収容施設に戻ることはできません。あなたの弁護士が追加の法的資料をあなたに提供することを希望する場合、彼らは法務郵便手続に従って郵送するか、または対象施設に設置されている法務郵便箱に投函しなければなりません。

詳細な情報については、プログラム声明 1315.07、法的な活動、収容者、およびプログラム声明 5265.11、連絡をご参照ください。

法的資料の写しを作成すること

あなたの調査または法的事項について必要な資料を複写するための支援を教育部に対して要請することが認められます。一般的には、教育部には、利用可能な複写機が備えられています。複写のための費用は、あなたの収容者アカウントから差し引かれます。

最小限の複写を必要とする場合、または資金がないとともに合理的な範囲での無料の複写を必要とする場合、矯正局の職員は、この費用を免除する場合があります。



あなたに関する矯正局の記録を要請する

審理前のファイルの資料を閲覧する方法は？

あなたは、ケース・マネジャーの監督のもとに、審理前のファイルの資料（あなたの健康記録を除く）を閲覧することを要請できます。承認を得るためには、ユニット・チームに対し、書式 BP-A0148 「収容者の職員に対する要請」を提出します。

また、ユニット・チームに対し、あなたの審理前のファイルの資料に含まれる文書の複写を要請することも可能です。

あなたは、審理前の資料を求めるために、いつでも、情報自由法（FOIA）の要請を提出することができます。あなたは、FOIA の要請を審理前のファイルの資料に含まれる文書を求めるために提出する必要は、要請対象の情報が開示不可である場合を除き、ありません。

これは、FOIA の要請なしには、要請する情報が共有されないことを意味します。当該情報があなたに共有される可能性が皆無である場合もあります。

どうすれば私の健康記録を入手することができますか？

あなたは、ご自身の **健康記録** を請求することが認められます。

- あなたの医療ファイルから記録を入手するためには、保健サービスに対し、収容者の職員に対する要請(BOP for BP-A0148)を提出します。
- あなたの精神保健ファイルから記録を入手するためには、心理学科に対し、収容者の職員に対する要請(BOP for BP-A0148)を提出します。

これらの記録の複写について料金を請求される場合があります。あなたの健康記録の中には開示不可なものがある可能性があります。

開示不可な文書とは？または、私のファイルに納められていない文書は？

矯正局の記録に納められているあなたに関する情報であなただけに提供することができないものを要請された場合、当該情報の開示を拒否する旨の行政メモの写しを提供されることとなります。あなたは FOIA 要請を送付することにより、引き続き、これらの記録を請求することができます。当該施設は、記録およびあなたの FOIA 要請の検討のために開示を拒否する行政メモの写しを送付することとなります。

あなたに関する施設ファイルに含まれていない他の文書へのアクセスを要請することを希望する場合、書面による FOIA 要請を送付することでも可能です。

すべての FOIA 要請は、以下の宛先に送付することができます：

FOIA/PA Section
Office of General Counsel, Room 924
Federal Bureau of Prisons
320 First Street, N.W.
ワシントン、コロンビア特別区 20534

電子および実際の法務図書館



収容されている間、あなたは法的資料にアクセスすることができます。あなたは、法的文書を作成することができます。多くの施設には、法務リサーチ用書籍、証拠開示の検討のためのコンピューター、教育プログラム、および電子法務図書館（ELL）を備えた実際の法務図書館が設けられています。矯正局の中央本部は、ELL に資料およびデータベースを維持しています。

文書をタイプ打ちすることができますか？

法務上の目的でコンピューターを使用し、印刷することができます。これは、あなたの未決拘留者用の区画で行うことが認められる可能性があります。法務上の目的でタイプライターを使用することを要請できます。しかしながら、すべての施設にタイプライターがあるわけではありません。タイプライター用のリボン、修正テープ、およびタイプ用紙は、自分で購入する必要があります。これらの品は、施設内の売店で購入することができます。

法的なリサーチをすることはできますか？

ELL のコンピューターを使用して自ら法的なリサーチを行うことが認められます。複数の ELL コンピューターが教育部の図書館またはレジャー室に設置されています。また、ELL コンピューターは、居住区画においても利用することができます。ELL の使用料は無料です。1 頁当たりの料金が ELL から印刷する際に賦課されます。ELL の使用のための訓練を必要とする場合、教育部に対して BP-A0148 「収容者の職員に対する要請」を提出することが認められます。

いつ法務図書館を利用できますか？

実際の図書館は居住区画又は教育部に設けられている可能性があります。あなたの居住区画に応じ、特定の日および時間帯に法律/レジャー図書館を使用することができます。これらの日および時間帯は収容区画の掲示板に掲示されています。監房から出ている間、居住区画において ELL コンピューターを使用することができます。

調査、文書作成、または証拠開示の検討のために時間の延長を要請することが認められます。教育部に対し、時間の延長を求めるために BP-A0148 「収容者の職員に対する要請」を提出します。例えば、次のような場合には、より長い時間を必要とする可能性があります：

- 予定されている裁判所の締切期限がある場合。
- 事件について検討すべき開示証拠が多量である場合。

多くの施設は、その教育部に法務上の目的のためにデビット・カードで利用できるコピー機械を備えています。デビット・カードは、施設内の売店で購入することができます。

あなたが無資力者である場合、次の品を無料で受領できる場合があります：

- 法務図書館の利用ごとに、タイプ用リボン、
- 修正用テープ、および
- 一定の限られた枚数のコピー。

「無資力者」とみなされるよう要請することができます。そのためには、教育部に対し、BP-A0148 「収容者の職員に対する要請」を提出します。矯正局には、収容されている者の中の誰が無資力者とみなされるべきかという点に関する独自の要件があります。裁判所から無資力者と見なされたとしても、それが矯正局の要件を満たすことを意味するものではありません。

詳細な情報については、プログラム声明 1315.07、*収容者の法的な活動*をご参照ください。



証拠開示の検討

刑事事件の係属中、あなたは政府側の証拠に基づき弁護を検討するとともに準備する権利を有します。政府は、通常、この証拠をあなたの弁護士に対し、電子的に提供します。これは証拠開示と呼ばれます。

私に関する証拠開示を検討する方法は？

あなたに関する証拠開示を検討するためには複数の方法があります：

- **物理的な写し:** あなたに関する証拠開示が文書である場合、あなたの弁護士は、印刷した物理的な写しを提供することができます。
- **コンピューター:** 次のような場合には、コンピューターを利用して、あなたに関する証拠開示を閲覧することが認められます：
 - 証拠開示に多数の文書が含まれており、そのすべてを印刷することが現実的ではないとき、または
 - 音声、ビデオ、その他のデジタルファイルが含まれているとき。

電子証拠開示を検討する際に、コンピューターを必要とする場合は、接見の際にあなたの弁護士とともに検討することができます。また、矯正局の証拠開示コンピューターを利用して自分自身で検討することも可能な場合があります。

保護命令下での証拠開示はどうなりますか？また、機密情報を含む証拠開示の場合はどうなりますか？

証拠開示の中には、共用スペースで所持または閲覧することが適切ではないものがあります。この種類の証拠開示は、一般的には、「保護命令」と呼ばれる法的書面に基づき、裁判所から保護すべきものとして命令されています。これは、裁判所が当該証拠開示を閲覧することができる者および閲覧の方法または共有する方法を定めた規則を命令したことを意味します。

また、証拠開示には、機密情報が含まれている場合があります。政府またはあなたは、第三者が機密情報にアクセスし、または閲覧することを望まない場合があります。たとえ証拠開示が保護命令の対象ではない場合でも、この場合にあたる可能性があります。

あなたの証拠開示が保護されているまたは機密である場合、それらを借り出したうえで、あなたの収容区画ではない安全なエリアにおいて、または弁護士のみと閲覧する必要があります。

電子証拠開示の表示

未決拘留者用の施設によっては、電子証拠開示をあなたの弁護士または検察側－米国連邦検事事務所から受領することになる可能性があります。すべての施設は、あなたが証拠開示に適切な表示を施すことを要求します。証拠開示は、施設の手続きも踏まなければなりません。これらの手続きには、一般的に、特定の情報を要求する書式が含まれています。

電子証拠開示は、一般的に、電子記憶媒体装置で提供されます。例えば、USB、エクスターナルハードドライブ、又は CD/DVD が挙げられます。この証拠開示が裁判所の命令で保護されている場合または機密情報である場合、その旨を明瞭に表示しなければなりません。

証拠開示を手元に留めたい場合、あなたは、「収容者の確認」書式に署名する必要がある場合があります。この書式は、あなたが証拠開示を受領した旨を文書化するものです。

自ら弁護人を務める被告人である場合、訴追弁護士または米国連邦検事補（AUSA）は、類似の手続きを用いてあなたが収容されている施設にあなたの証拠開示を送付するとともに、当該施設の法務部の手続きと調整する可能性があります。

証拠開示コンピューター

ほとんどすべての未決拘留者用の施設の居住区画および教育部に証拠開示コンピューターが設置されています。すべての未決拘留者用の施設には、面会室に少なくとも1台の証拠開示コンピューターが設置されています。

証拠開示の内容を検討するためにプライベートな空間を必要とする場合は、面会室または教育部においてそのようにすることを要請できます。あなたは、スペースおよび矯正局の人員に余裕がある限り、そうすることができます。

あなたが矯正局において無資力者とされている場合、教育部または担当のユニット・チームから証拠開示の検討のためのヘッドフォンを要請することができます。

刑事事件について未決拘留の段階にあるものの、上述の10か所の排他的未決拘留者用の矯正局の施設に収容されていない場合、あなたは引き続き証拠開示を検討することが認められるべきものです。あなた居住区画または教育部において証拠開示コンピューターにアクセスできない場合、あなたは担当のユニット・チームにアクセスのために支援を求めることができます。

未決拘留者用の施設別の電子証拠開示の検討

MDC ブルックリン

- 法務部が承認した場合、あなたはこの電子証拠開示をあなたの居住区画で利用できるようになります。この機械は、使用していない場合は、ベッドの隣の個人用ロッカーに保管されなければなりません。
- 保護されているまたは機密の証拠開示は、教育部の法務図書館においてのみ許されるものです。
- そこには、証拠開示による資料を保管する保護されたロッカーが設置されています。ロッカーおよびコンビネーション・ロックを入手することになります。
- 保護されている、または機密の資料を検討するために1週間当たり1回90分間法務図書館を訪れることが認められる場合があります。より長い時間を必要とする場合、教育担当の従業員およびユニット・チームにその旨依頼することができます。
- 特別な状況の下で、裁判所は証拠開示の内容の検討のためにラップトップを提供するよう命令する可能性があります。このようなラップトップは、面会室に保管されるものです。あなたは、月曜日から金曜日までの午前8時から午後3時までの時間帯に面会室においてラップトップを使用して開示情報を検討することを要請できます。

MCC シカゴ

- 法務部が承認した場合、あなたはこの電子証拠開示をあなたの居住区画で利用できるようになります。
- あなたは、保護されているまたは機密の電子証拠開示を教育部においてのみ閲覧できます。証拠開示を教育担当管理者から借り出すことができます。
- あなたは、教育担当管理者とともに保護されているまたは機密の証拠開示を検討するための時間を予定することができます。

MDC グアヤナボ

- 法務部が承認した場合、すべての電子証拠開示は、面会室のキャビネットに保管されることになります。あなたは、担当のユニット・チームまたはユニット。オフィサー（以下「OIC」という。）に対し、証拠開示を検討するための時間を要請し、日程を設定することができます。
- MDC グアヤナボには、4台の証拠開示コンピューターが設置されています。あなたは、これらの証拠開示コンピューターを利用して面会室の中の施錠された部屋で電子証拠開示を検討することができます。

FDC ホノルル

- ユニット・チームが承認した場合、あなたの居住区画において電子証拠開示を利用できるようになります。
- 保護されたまたは機密の電子証拠開示は、ユニット・チームが保持することになります。あなたは、ユニット・チームから借り出すことができます。

FDC ヒューストン

- ユニット・チームおよびコンピューター・サービスが承認した場合、あなたの居住区画において電子証拠開示を利用できるようになります。
- FDC ヒューストンには、証拠開示を保管/閲覧するための実際の法務図書館はありません。あなたは、保護されたまたは機密の電子証拠開示を弁護士とともに面会室において閲覧することができるのみです。

MDC ロスアンゼルス

- 法務部が承認した場合、ユニット・チームは、あなたに対し、あなたが電子証拠開示を居住区画において利用できるようにします。
- あなたの弁護士は、法務部と協力し、あなたが保護されている又は機密の電子証拠開示を閲覧できるよう手配しなければなりません。

FDC マイアミ

- 法務リエゾンが承認した場合、ユニット・チームは、あなたが電子証拠開示を居住区画で利用できるようにします。
- あなたの弁護士は、法務部と協力し、あなたが保護されている又は機密の電子証拠開示を閲覧できるよう手配しなければなりません。

FDC フィラデルフィア

- 法務部が承認した場合、ユニット・チームは、あなたに対し、あなたが電子証拠開示を居住区画において利用できるようにします。
- あなたは、保護されているまたは機密の電子証拠開示をユニット・チームから借り出すとともに、返還しなければなりません。

MCC サンディエゴ

- ユニット・チームが承認した場合、あなたの居住区画において電子証拠開示を利用できるようになります。
- あなたは、保護されているまたは機密の電子証拠開示を教育部法務図書館から借り出して閲覧することのみができます。

FDC シー・タック

- ユニット・チームが承認した場合、あなたの居住区画において電子証拠開示を利用できるようになります。
- あなたは、保護されているまたは機密の電子証拠開示を教育部法務図書館から借り出して閲覧することのみができます。

公証人



公証人は、文書に記入し、または署名する者の同一性を証明することに関する権限および免許を付与されている者です。

未決拘留者用の施設では、一般的に、公証人サービスは提供されません。

公証人を必要とする場合：

- 担当のユニット・チームが公証人を探す方法についての情報を提供する場合があります、または
- あなたの弁護士が接見の際に、承認済の法務アシスタントとして自らの公証人を同伴することも可能です。

眼鏡



処方眼鏡

未決拘留中は処方眼鏡を手元に留めておくことが認められます。眼鏡を持っていないものの、法的資料または証拠開示を読むために眼鏡を必要とする場合、あなたは：

- 施設に対して眼鏡の提供を要求すること、または
- 施設外の者から処方眼鏡の送付を受けることが認められます。

あなたは、処方眼鏡を施設外の供給源から入手することを要請することができます。このためには「小包を受領する権限賦与」書式 BP-A0331 を使用します。この書式は、眼鏡が当該施設に送付されること、および保健サービスが眼鏡を提供することを許可するものです。この点については、あなたの弁護士と調整することが出来ます。

読書用眼鏡

未決拘留者用の施設の売店は、あなたが購入することができる各種の度の強さの読書用眼鏡を揃えられています。無資力者である場合、あなたは保健サービス部に対し無料の読書用眼鏡を求めることができます。

視力検査

読書用眼鏡が必要であり、処方箋を得られるかを知るために市設内において視力検査を受けることを要請できます。矯正局は、処方眼鏡を無料で提供することになります。

ただし、視力検査の受検および眼鏡の入手のための待機リストがある可能性があります。より速やかに処方眼鏡を必要とする場合には、上述の手続きにより外部の供給源から処方眼鏡を入手することを要請できます。。

詳細な情報については、プログラム声明 5800.18、施設への入所および退所に関するマニュアル、第 403 条 及びプログラム声明 6031.05、患者ケア、第 27 条をご参照ください。

量刑判決前報告書の検討



裁判において有罪と判断されるか、または自ら有罪を認めることにより有罪判決を受けるか、有罪と裁定された後、米国保護観察局があなたのために量刑判決前報告書（PSR）を作成します。

PSR の内容は？

PSR は：

- 裁判所に対して、あなたの個人履歴に関する完全な報告、
- 犯罪行為の詳細な要約を提供するとともに、
- 米国の量刑委員会ガイドラインの範囲を計算し、さらに、
- あなたに対する量刑の期間および種類について提案します。

あなたには、PSR を読み、その内容が正確かつ適切な情報を提供していることを確かなものとする権利があります。

量刑判決前

あなたが矯正局の施設に収容されている未決拘留の成人で量刑判決を下されていない者である場合、自分自身の PSR の写しを入手し、検討することが認められる場合があります。量刑判決を下される日まで PSR を検討し、量刑判決に備えることが出来ます。実際に PSR を検討していないときは、担当のユニット・チームにあなたの PRS を保管するように依頼することができます。

量刑判決後

量刑判決を下された後、あなたは PSR の写しを保持することを禁止されます。収容されている成人の全ては、未決拘留中であり、未だ量刑判決が下されていない場合を除き、自らの PSR を受領、または保持することは禁止されています。自らの PSR を保持することが禁止されている理由は、その PSR を他の者に対して示すこと、または与えることを強制されることからあなたを守るためです。あなたは、その写しをご自身の弁護士またはユニット・チームに返却しなければなりません。量刑判決を下された後に自らの PSR の写しを保持している場合、あなたは制裁措置の対象となる可能性があります。

量刑宣告を下された後は、矯正局の担当者の監督の下に自らの PSR を閲覧することのみができます。

詳細な情報については、プログラム声明 1351.05、CN-1、情報の提供をご覧ください。

特別居住区画における法的な権利行使へのアクセス



特別居住区画（以下「SHU」という。）において制限的な収容状態にある場合でも、あなたには自らの弁護士および法廷に対し法的な権利を行使する権利を有するものです。この場合、あなたの法的な権利行使へのアクセスの方法は、一般的な人々のための居住区画に係るものとは異なる可能性があります。

すべての未決拘留者施設の SHU には、矯正局の証拠開示コンピューターおよび ELL コンピューターが 1 台ずつ設置されています。あなたは、SHU の職員を通じて証拠開示または ELL コンピューターの使用を請求することが認められます。一般的に、制限的な収容状態にある場合、あなたは TRULINCS を使用することは許されません。一般的に、SHU における接見は、面会室では行われません。SHU には、監視されていない直通電話ボックスはありません。あなたは、このハンドブックにおいて既に述べたものと同じ手続きにより、ユニット・チームを経由して法的な相談のための通話を要請することができます。

MDC ブルックリン、FDC フィラデルフィア、または MCC シカゴのみ

MDC ブルックリン、FDC フィラデルフィア、または MCC シカゴに収容されている場合、法的な権利へのアクセスの要請は SHU の補佐官に対して行うべきものです。